

原子力防災訓練が実施されました

当社は11月11日の新潟県原子力防災訓練に参加し、県や市町村等関係箇所との連携や、情報発信等を訓練しました。今回の訓練による関係箇所からのご意見などを今後の緊急時の計画に反映するとともに、引き続き訓練を重ね安全性の向上に努めてまいります。

発電所緊急時対策本部での訓練

- ◆ 所員約240名が発電所内の緊急時対策室に参集し、7号機の事故を想定した訓練を行いました。
- ◆ 訓練では、事故収束に向けた対応、指揮命令系統の確認、関係箇所への情報発信、本店緊急時対策本部との連携などの訓練を行いました。
- ◆ 実際に自治体へ派遣した当社社員にプラントの状況をタイムリーかつ正確に伝える訓練も行いました。



発電所緊急時対策本部（本部長：発電所長）



本店緊急時対策本部（本部長：社長）

当日は、発電所内外で様々な訓練を実施しました。

オフサイトセンター

- ◆ 柏崎刈羽原子力防災センター（柏崎市三和町）の現地対策本部で、事業者として情報の収集や受発信を行いました。



役員・社員の移送

- ◆ 対応の指揮をする当社の役員・社員を柏崎市鯨波のヘリポートまで移送しました。



自治体への派遣

- ◆ 各自治体の災害対策本部に当社社員を派遣しプラント状況の説明などを行いました。



後方支援拠点立ち上げ

- ◆ 柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前）で緊急時に発電所の後方支援を行う拠点を設置しました。



汚染傷病者の搬送

- ◆ 発電所内の放射線管理区域で発生した汚染傷病者の搬送をしました。



原子炉格納容器ベント操作

- ◆ 7号機原子炉建屋内で、原子炉格納容器ベント弁を手動で開く操作を行いました。



私たちは、福島事故を決して忘れることなく、昨日よりも今日、今日よりも明日の安全レベルを高め、地域の皆さまから信頼され安心していただける発電所を目指してまいります。